

令和5年度（2023年度）第1回公立大学法人熊本県立大学理事会 議 事 録

日 時：令和5年（2023年）6月21日（水）午後3時12分～午後3時14分

場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室

出 席：

<理事> 理事長 白石 隆
副理事長（学長）堤 裕昭
理事（副学長）鈴木 元
理事（事務局長）倉光 麻里子
理事 本松 賢
<監事> 監事 吉川 栄一
監事 本田 悟士

<事務局> 加藤次長、三隅教務入試課長、樋口学生支援課長、國武企画調整室長、
二宮総務課長、犬塚地域・研究連携センター事務長、坂本デジタルイ
ノベーション推進センター事務長、宮本国際教育交流センター事務長
・図書館事務長、井上監査室長、箕総務課財務班長、松尾総務課財務
班参事、井上総務課総務班参事、松本企画調整室参事

1 開会（進行：川元次長）

2 理事長あいさつ

3 議題（議長：白石理事長）

（1）審議事項

①第3期中期計画・令和4年度計画に関する自己点検・評価（案）等について事務局から、資料1に基づき、中期計画・年度計画に関する自己点検・評価（案）等について、全50項目中、S～Cの4段階評価でA評価が48項目、B評価が2項目であり、B評価の2項目は大学院の収容定員充足率の一部未充足とTOEIC®IPテストの受験者数減によるものだが、ほぼ順調に実施できたと総括していることを説明した。

審議の結果、案のとおり承認された。

②令和4年度決算について

事務局から、資料2に基づき、令和4年度決算について、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、利益の処分に関する書類（案）、決算報告書により説明があった。

前年度の総利益より約500万円の減となったものの、当期総利益は約2千300万円を確保できた。この利益については、法に基づき、教育研究等環境整備目的積立金として積み立てることとし、県に承認を求めるとの説明があった。

続いて、吉川監事から独立監査人の監査報告書及び監査報告の説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

③令和5年度6月補正予算案について

事務局から、資料3に基づき、6月補正予算案について、新型コロナウイルスへの感染防止と学修機会の充実に向けたデジタル環境整備等のための約6千万円の増額補正であること、県知事に年度計画の変更の届出を行う予定であることを説明した。

審議の結果、案のとおり承認された。

④教員採用に係る枠取り（食健康環境学）について

学長から、資料4に基づき、環境共生学部「食健康環境学」の教員（助教）について、令和6年4月1日採用予定として枠取りを行いたいとの説明があった。

審議の結果、提案のとおり承認された。

⑤次期（第4期）中期計画期間（R6-11）において重点的に取り組む事項（案）について

事務局から、資料5に基づき、次期（第4期）中期計画期間（R6-11）において重点的に取り組む事項（案）について、「1 社会と時代の要請に合わせた教育の質の向上」、「2 地域との幅広い協働を確立する教育研究の着実な推進」、「3 地域の国際化に対応し、国際社会にも寄与する教育研究の推進」の3つを掲げること、またそれぞれ項目の重点事項を説明した。

審議の結果、提案のとおり承認された。

(2) 報告事項

①総合管理学部における専攻制の導入について

学長から、資料10に基づき、総合管理学部における専攻制の導入について、学部創立30周年を迎える2024（令和6）年度からの施行をめざし、専攻制の導入を柱とする総合管理学部の新しい教育課程を施行する旨報告があった。

②認証評価の結果について

事務局から、資料11に基づき、学校教育法第109条第2校の規定に基づき令和4年度に受審した認証評価の結果について、（公財）大学基準協会の定める大学基準に適合していると認定された旨報告があった。

③熊本県立大学未来基金の令和4年度（2022年度）収支状況について

事務局から、資料12に基づき、熊本県立大学未来基金の収支状況について、収入状況、支出状況の報告があった。

④内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」への申請について

事務局から、資料13に基づき、内閣府「地域中核大学イノベーション創出環境強化事業」に申請したとの報告があった。

4 その他

○ 次回理事会は、令和5年（2023年）9月27日（水）の経営会議終了後に開催予定。

5 閉会

以 上